

第2次 都心まちづくり

計 画

概 要 版

平成 28 年（2016 年）5 月

札幌市

＜第2次都心まちづくり計画 概要版 目次＞

1	都心まちづくり計画見直しの背景と視点	1
2	計画の構成	2
3	計画の目標と目指すまちの姿	3
4	都心の構造	4
5	都心まちづくりの戦略	6
6	都心の空間形成指針	10
7	都心まちづくりの着実な展開に向けて	12

1 都心まちづくり計画見直しの背景と視点

前「都心まちづくり計画」 (平成 14 年度策定)

都心を取り巻く課題

都市を取り巻く環境変化への対応

- 生産年齢人口減少に伴う経済活力の低下
- 低炭素社会実現の必要性
- 災害に強い都市づくりへの社会的要請

札幌市を取り巻く社会情勢の変化への対応

- 激しさを増す都市間競争への対応
- 広域交通アクセス強化の必要性
- 北海道新幹線の札幌延伸

都心の新たな機運への対応

- 札幌オリンピック (昭和 47 年) を契機に建設されたビル等の更新ピークの到来
- 二つのまちづくり会社による事業展開

新たな上位計画等との整合

- 札幌市まちづくり戦略ビジョンの策定 (平成 25 年度)
- 都市計画マスタープランの見直し (平成 27 年度)

札幌・都心のポテンシャル

- 世界唯一の積雪寒冷大都市
- 地震等、自然災害の発生リスクの低さ
- 高次の業務機能の集積
- 道都札幌の求心力と交通結節機能
- 札幌の都市成長・発展を支えてきた都市基盤等のレガシー^{※1}など

※1 レガシー：過去の遺産。

北海道・札幌をけん引する都心の役割

- 活力があふれ世界を惹きつける都心
- 道内市町村との連携・協調による北海道経済・産業の活性化をけん引する都心
- 市内主要拠点との連携から、相乗効果を発揮する中核としての都心

新たな都心まちづくり計画に求められる視点

- ◆世界が目を向ける成長戦略の発信
- ◆北海道・札幌の持続可能性を先導する都心の強化
- ◆札幌らしいライフスタイル・ワークスタイルの実現
- ◆まちづくりの実効性を高める連携・協働を提案

2 計画の構成

- 第2次都心まちづくり計画（本書）
～都心まちづくり計画は、20年間の計画期間における都心のまちづくりを支える理念や市街地の構造のあり方、取り組むべき戦略を定める計画とします。
- 第2次都心まちづくり計画（展開プログラム）
～本計画に基づくまちづくりを着実に展開するために、5年間で取り組むべき事業・活動を展開プログラムとして位置付けます。

第2次都心まちづくり計画 本書（計画期間 20年）



+

第2次都心まちづくり計画 展開プログラム （5年間で取り組むべき事業・活動）

3 計画の目標と目指すまちの姿

●都心まちづくり計画の目標

国内外から活力・投資を呼び込む札幌都心ブランドの確立

～世界に誇れる環境性や防災性を備え、高次な都市機能が集積する持続可能で魅力のある都心とすることで、札幌都心ブランドを確立し、国内外から投資を呼び込み、北海道・札幌の経済をけん引します。

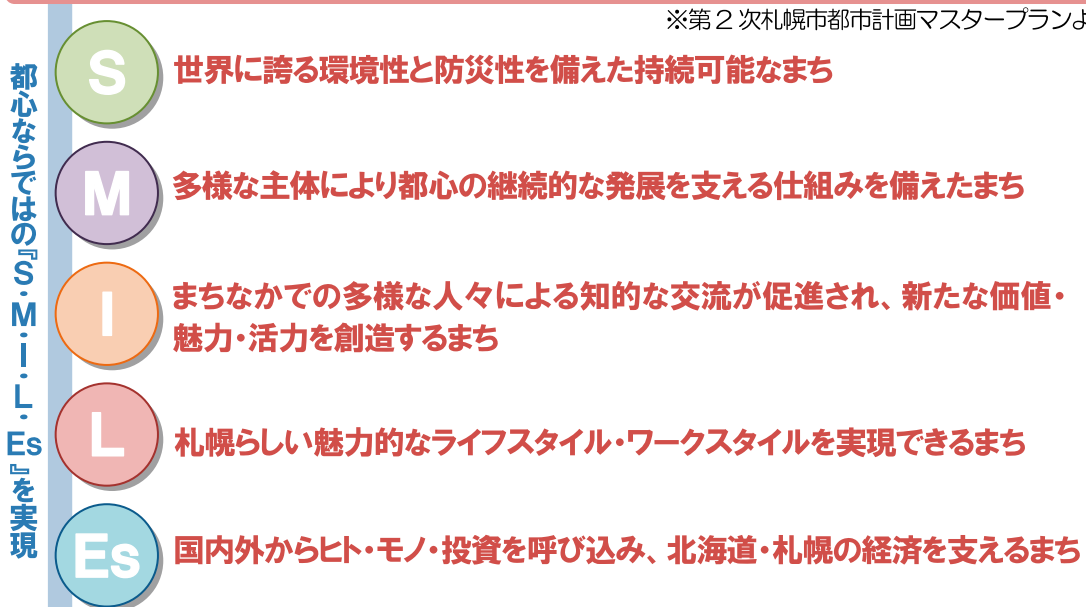
魅力的な都心のライフスタイル・ワークスタイルの実現

～日常的な市民の訪れや、豊かな時間消費を支えるとともに、札幌を象徴する景観を備えた都市空間を創出し、また、働く場としての利便性・快適性の高い環境を備えることで、魅力的な都心のライフスタイル・ワークスタイルを実現します。

●まちづくりを通じて目指す都心の姿



※第2次札幌市都市計画マスタープランより。



北海道・札幌をけん引する経済成長と
世界に誇る低環境負荷の実現

4 都心の構造

骨格構造

～前都心まちづくり計画・さっぽろ都心まちづくり戦略での考え方～

◎4つの骨格軸

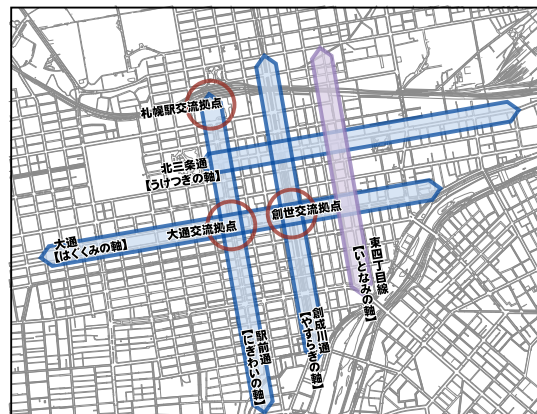
～駅前通、大通、創成川通、北三条通

◎展開軸

～重点地区（創成東地区）の背骨となる東四丁目線

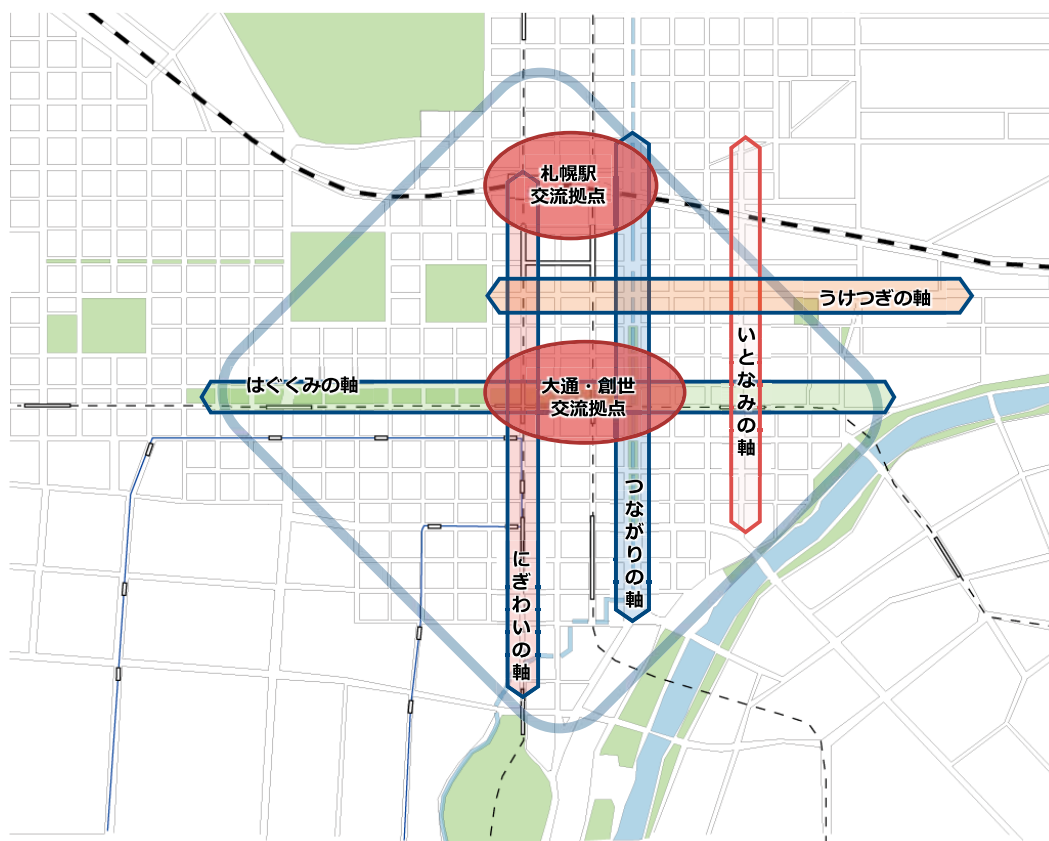
◎3つの交流拠点

～札幌駅交流拠点、大通交流拠点、創世交流拠点



『4骨格軸-1展開軸-2交流拠点へ』

- 5つの軸は継承しつつ、沿道との連携を強化
- 創成川通の広域交通ネットワークとしての位置づけの強化
（『やすらぎの軸』から『つながりの軸』へ）
- 交流拠点の役割の拡大
- 札幌駅交流拠点の形成、大通と創世の二つの交流拠点は再編・強化し、新たな交流拠点が連鎖・連携を進め相乗効果を発揮

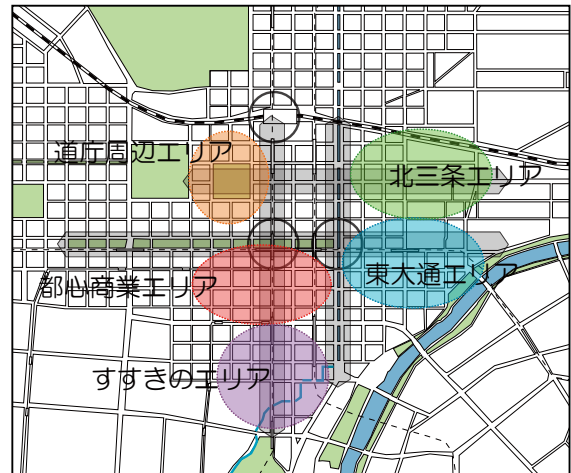


ターゲット・エリア

～前都心まちづくり計画・さっぽろ都心まちづくり戦略での考え方～

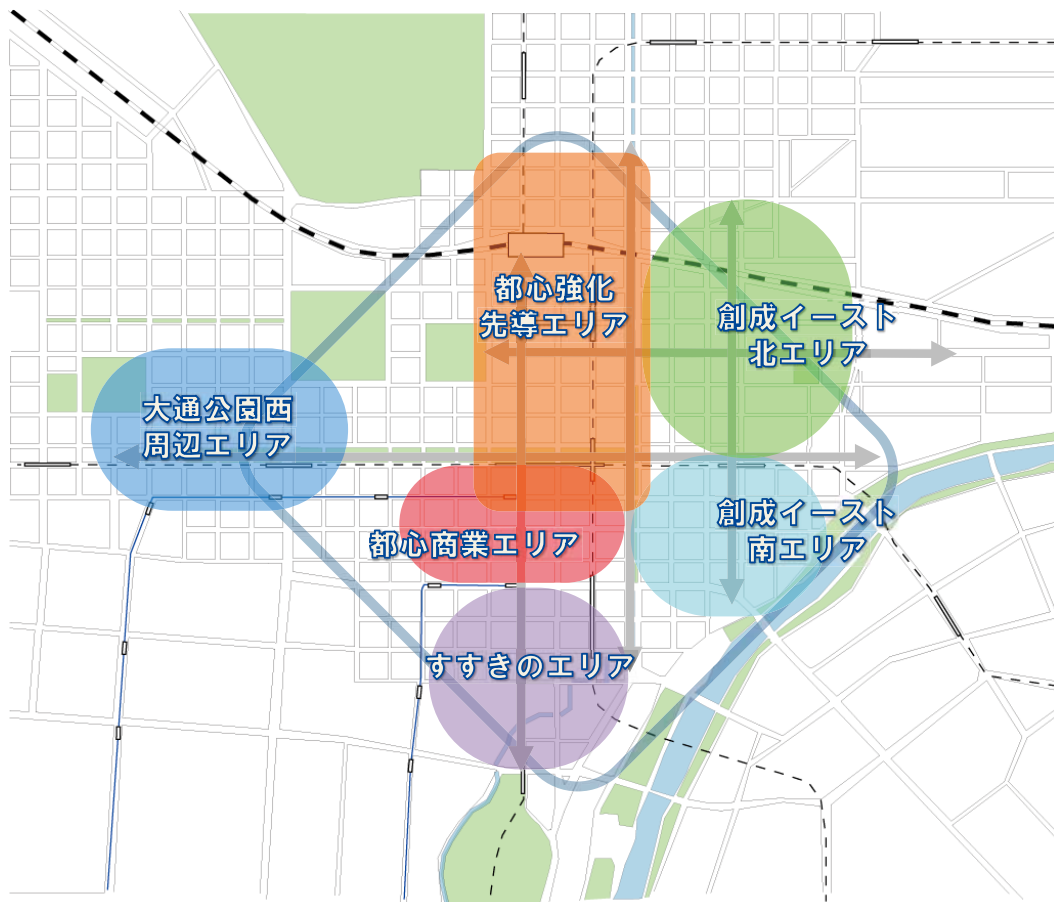
◎5つのターゲット・エリア

～道庁周辺エリア、都心商業エリア、すすきのエリア、北三条エリア、東大通エリア



『新たなターゲット・エリアの設定』

- 都心強化先導エリアの設定
- 地区に集積するホール・ホテル等の交流施設を活かしたまちづくりを展開する
大通公園西周辺エリアの設定
- 既存ターゲット・エリアの強化



5 都心まちづくりの戦略

戦略1

世界が注目する魅力と活力、ライフスタイルを実現する
ビジネス・都市観光機能の強化と成熟型都市環境の実現

戦略の骨子

北海道・札幌を先導する都心のビジネス・
都市観光機能の強化

成熟社会における市民生活の高質化と豊
かな都市文化を享受できる環境の充実

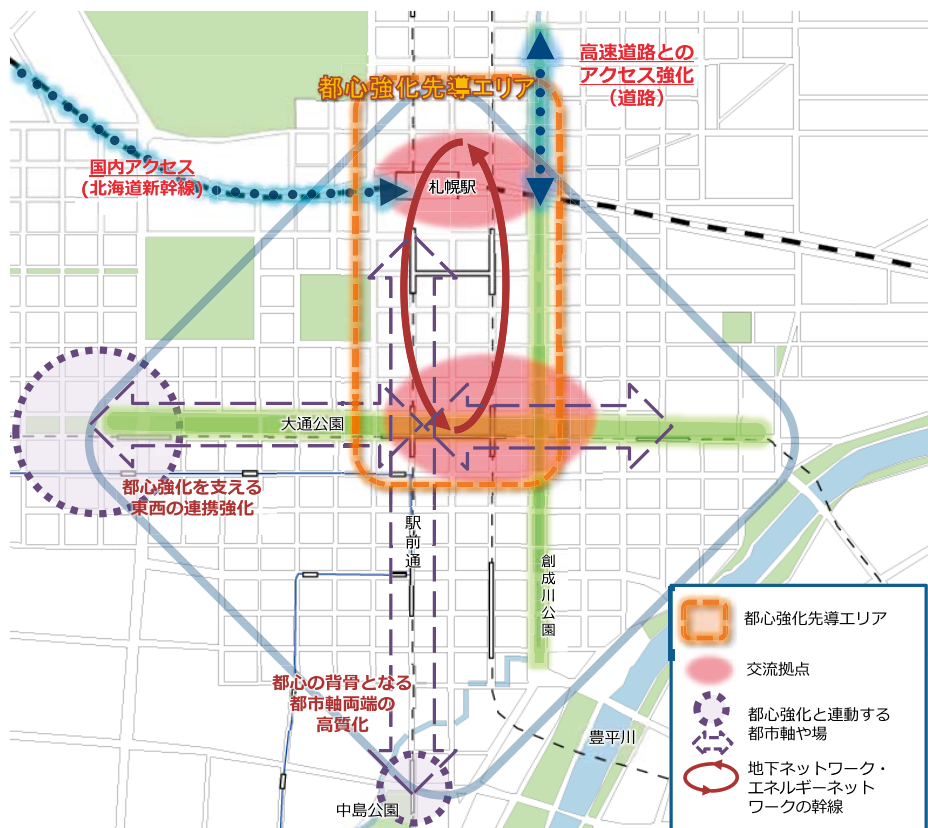
戦略推進のための施策

- 施策01 国内外からの人・情報・投資を呼び込み活力を創造・象徴する都心のビジネス環境・機能の強化
- 施策02 災害リスクの低い地理的優位性を活かした、エネルギー多重化によるBCD^{※2}の形成
- 施策03 札幌・都心の資源や資産を活かした観光交流の促進やMICE^{※3}環境の充実
- 施策04 都市開発や企業立地を促進するインセンティブ^{※4}の構築
- 施策05 都心強化先導エリアにおける札幌駅交流拠点、大通・創世交流拠点の形成

※2 BCD：Business Continuity District～事業継続基盤強化地区。

※3 MICE：多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称で、Meeting（会議・セミナー）、Incentive tour（企業報奨・研修旅行）、Convention（大会・学会・国際会議）、Exhibition（イベント・展示会・見本市）の頭文字のこと。

※4 インセンティブ：人の意欲を引き出すために、外部から与える刺激、動機付け、誘因。



戦略2

北海道らしい豊かなみどりや地球にやさしい環境を守り育てる持続可能なまちの実現

戦略の骨子

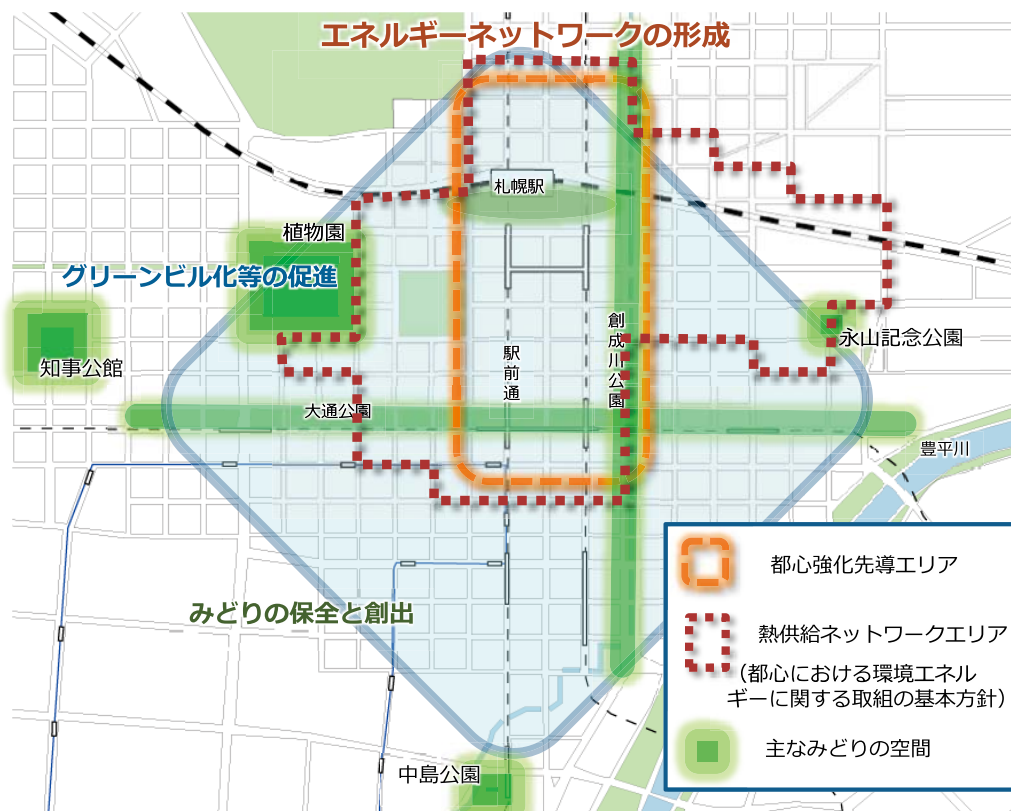
北海道・札幌を象徴する豊かなみどりの空間の創出・拡充

「環境首都・札幌」を象徴する都心の低炭素化

戦略推進のための施策

- 施策06 北海道・札幌を象徴する豊かなみどりを感じる空間の創出
- 施策07 エネルギーネットワークの構築と、同ネットワークへの接続の推進
- 施策08 環境負荷を低減した環境にやさしいグリーンビル^{※5}の普及促進

※5 グリーンビル：立地、設計、建築、運営、メンテナンス、改装、解体まで、建物のライフサイクル全体を通して、環境に責任のある、資源効率の高い仕組みや方法を用いた建物。



戦略3

市民や来街者にとって魅力的なライフスタイル・ワークスタイルを生む都市空間の形成

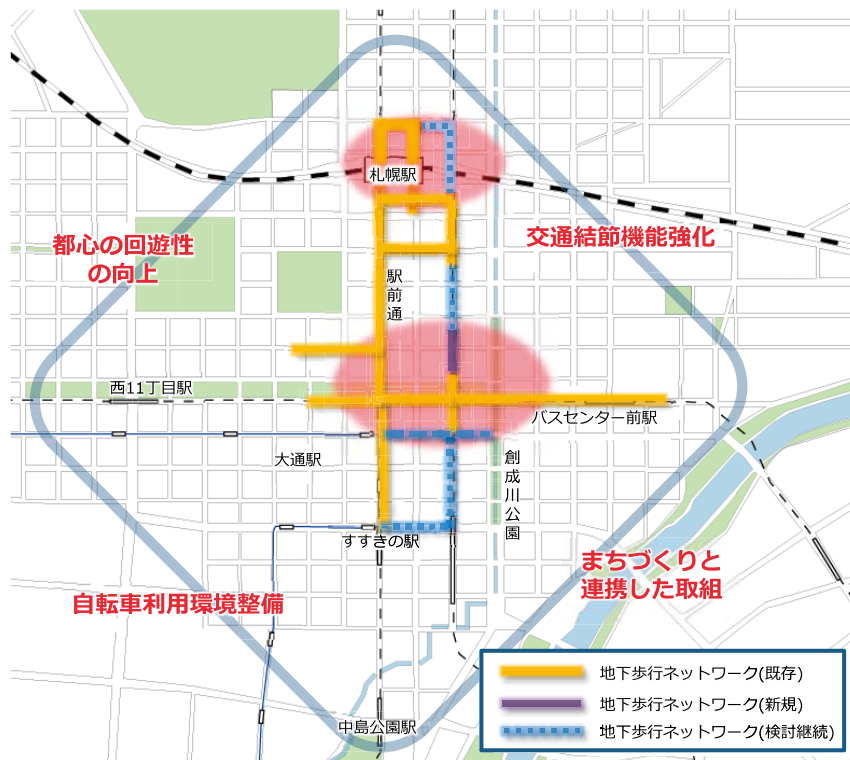
戦略の骨子

公共交通を軸とした歩行者優先の交通環境の形成

都心らしいライフスタイル・ワークスタイルの実現

戦略推進のための施策

- 施策 09 快適に過ごせる人を中心とした回遊環境の整備
- 施策 10 誰もが都心にアクセスできる利便性の高い交通ネットワークの充実
- 施策 11 誰もが都心の魅力と活力を享受できる生活環境・公共空間の整備
- 施策 12 都心における多様なワークスタイルを支える就業環境の強化



戦略4

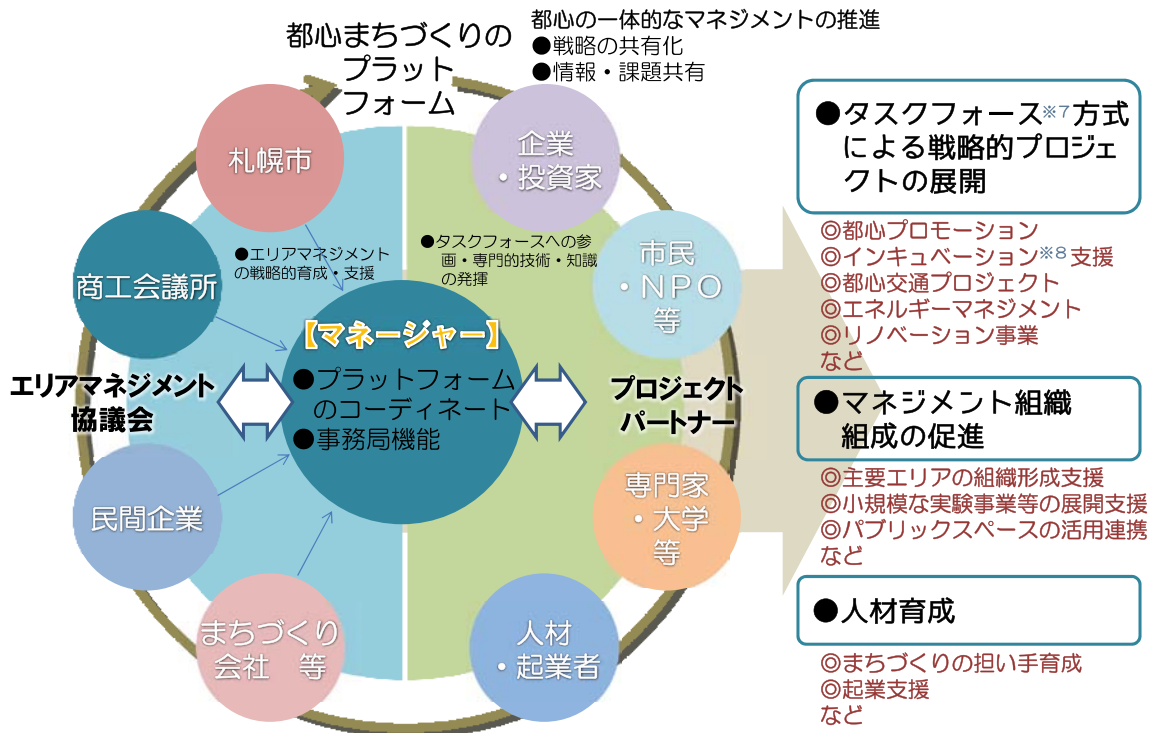
札幌の持続的・発展的成長をけん引する
都心マネジメントの展開

戦略の骨子

札幌都心の重層的エリアマネジメント^{※6}の仕組みの構築

戦略推進のための施策

- 施策 13 都心の魅力と活力を束ね、発信するプラットフォームの組成
- 施策 14 エリア・場の特性に応じたマネジメントの促進
- 施策 15 周辺エリアとの連携による北海道・札幌の魅力発信の推進



※6 エリアマネジメント：地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者などによる主体的な取組。

※7 タスクフォース：特定の課題に取り組むために設置される組織。

※8 インキュベーション：本来は卵などが孵化するという意味。ここでは、起業家の育成やビジネスを支援すること。

6 都心の空間形成指針

●骨格軸形成・強化の指針

<p>駅前通 ～にぎわいの軸～</p>	<p>展開指針</p> <p>都心のにぎわい・活力を象徴する沿道の機能・空間の再編と、都心強化と連動する軸双方向の起点からの高質化</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・象徴的な軸空間の形成 ・多様なネットワークの形成 ・軸双方向からの資源・資産の高質化によるにぎわいの軸の強化
<p>大通 ～はぐくみの軸～</p>	<p>展開指針</p> <p>札幌のまちを形成する根幹となる歴史を備える東西軸として、潤いあるみどりを中心に、札幌の都市文化・新たな価値をはぐくむ空間の創出</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨格軸の強化 ・都心東西市街地の連携強化
<p>創成川通 ～つながりの軸～</p>	<p>展開指針</p> <p>広域からの都心アクセスを支えるとともに、豊かな環境を活かした市民の交流・つながりを創出</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域交通ネットワーク機能の強化 ・創成川以西・以東の市街地の連続性強化 ・狸二条広場の活用による地域活性化の促進
<p>北三条通 ～うけつぎの軸～</p>	<p>展開指針</p> <p>札幌発展の歴史・文化を活かした街並み、空間の形成とその活用</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を活かした街並み形成の推進 ・北3条広場を起点とする広場空間の連鎖
<p>東四丁目線 ～いとなみの軸～</p>	<p>展開指針</p> <p>創成東地区の職・住・遊を支える多様な機能の複合化と創成イースト南北の回遊性の向上を支える通りの形成</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都心まちづくりを支える軸の一つとしての空間・機能強化 ・まちづくりへの通りの活用

●交流拠点形成・強化の指針

<p>札幌駅 交流拠点</p>	<p>展開指針</p> <p>北海道・札幌の国際競争力をけん引し、その活力を展開させる「起点」の形成</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成と高次都市機能・交通結節機能の強化
<p>大通・創世 交流拠点</p>	<p>展開指針</p> <p>質の高い、文化的なライフスタイルを支える機能・空間の形成</p>	<p>取組の骨子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・札幌の都市文化を発信・体感する拠点機能の展開 ・交流拠点を核とした、人とまちをつなげるネットワークの強化

●エリア特性に応じたまちづくりを進めるための取組

<p>都心強化 先導エリア</p>	<p>展開指針 都心まちづくりの目標を先導的に具現化する都市空間・都市機能の誘導・形成</p>	<p>取組の骨子 ●骨格軸・交流拠点を中心とした象徴的な都市空間の形成 ●成熟都市札幌のショーケースとなる都市空間の強化 ●都心強化に資する機能・空間の高次化</p>
<p>都心商業 エリア</p>	<p>展開指針 路面の魅力の再生と中心商業地としての歴史・伝統の活用による活性化</p>	<p>取組の骨子 ●ストリートの個性化と遺産の活用 ●移動環境の向上と公共・共用空間の充実 ●まちのデザインとおもてなしの充実</p>
<p>すすきの エリア</p>	<p>展開指針 観光交流・市民生活を充実させる歓楽街づくりと中島公園をはじめとする周辺資源との連携</p>	<p>取組の骨子 ●すすきのエリアの方向性検討 ●安心感と魅力の向上 ●資源活用と周辺との連携・連鎖</p>
<p>創成東 地区</p>	<p>展開指針 人を中心としたコンパクトシティの実現を支える複合型市街地の形成と観光・歴史資源を活かしたエリアマネジメントの展開</p>	<p>取組の骨子 創成イースト北エリア ●連鎖・連携の創造・波及 創成イースト南エリア ●資源活用を視点としたマネジメントの推進 ●ストック活用の促進</p>
<p>大通公園 西周辺 エリア</p>	<p>展開指針 地区に集積するホール、ホテル等の施設を活かした集客交流機能の向上</p>	<p>取組の骨子 ●交流機能強化 ●他のターゲット・エリアとのネットワーク強化</p>

●都心全域を視野に入れた空間形成指針

<p>視点① 交流空間の創出</p>	<p>回遊の基軸となる骨格軸の結節点について、市民、来街者が都心における多様なアクティビティに触れ、都心のにぎわい・活力を体感できる豊かな空間を備えるべき場として、新たな回遊・交流を創出・強化</p>
<p>視点② 地上・地下の重層的 ネットワークの形成</p>	<p>安全・快適な回遊を支える地下空間ネットワークを活かし、沿道ビルの建替え更新等を通じた接続や結節点における滞留・交流の場づくりを図ることで地上地下の重層的ネットワークを形成</p>
<p>視点③ 界わい性と奥行きのある 公共的空間の連鎖</p>	<p>建物内の貫通通路や建物と建物間の通路など多様な歩行者動線を配置・活用して、パブリックスペース^{※9}のきめ細やかなネットワーク形成により、表通りだけではなく奥行きのある都市空間の形成を促進</p>

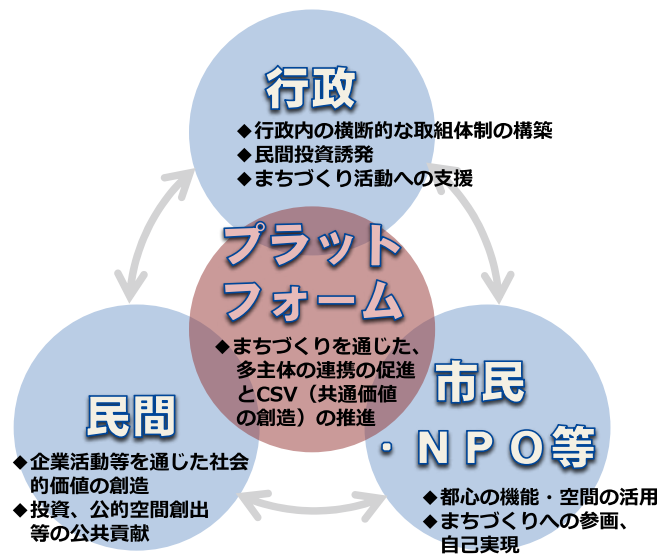
※9 パブリックスペース：公共的な空間。行政や民間など、整備主体を問わず、不特定多数の人が利用できる空間。

7 都心まちづくりの着実な展開に向けて

●まちづくり展開を支える各主体の役割と価値創造の仕組みづくり

○行政、民間企業、地域（市民・NPO等）といった関係主体が将来像や、まちづくりを通じた新たな都心の価値を共有したうえで、それぞれの役割・能力に応じて多様な連携を展開し、協働によるまちづくりを推進する。

○こうした各主体による都心まちづくりへの取組を束ね、関係主体間で共有される都心の新たな価値の創造を促す都心マネジメントの仕組みづくりを推進する。



●都心まちづくりの展開プログラムの位置づけ

○今後の社会情勢の変化や取組の進展状況を考慮する必要があることから、本計画年次20年間の5年毎に区切り、都心まちづくりに関わる主体間で共有された価値を実現する取組（「ねらい」とその推進に際しての中核的な「主体」、推進を支える「事業」の内容を含めた展開プログラムを定め、それに基づいて進めていく。

○当初の5年間の展開プログラムについては、「札幌市まちづくり戦略ビジョン アクションプラン2015」を踏まえて定め、その後も他の計画等を考慮し、適切に定めていく。

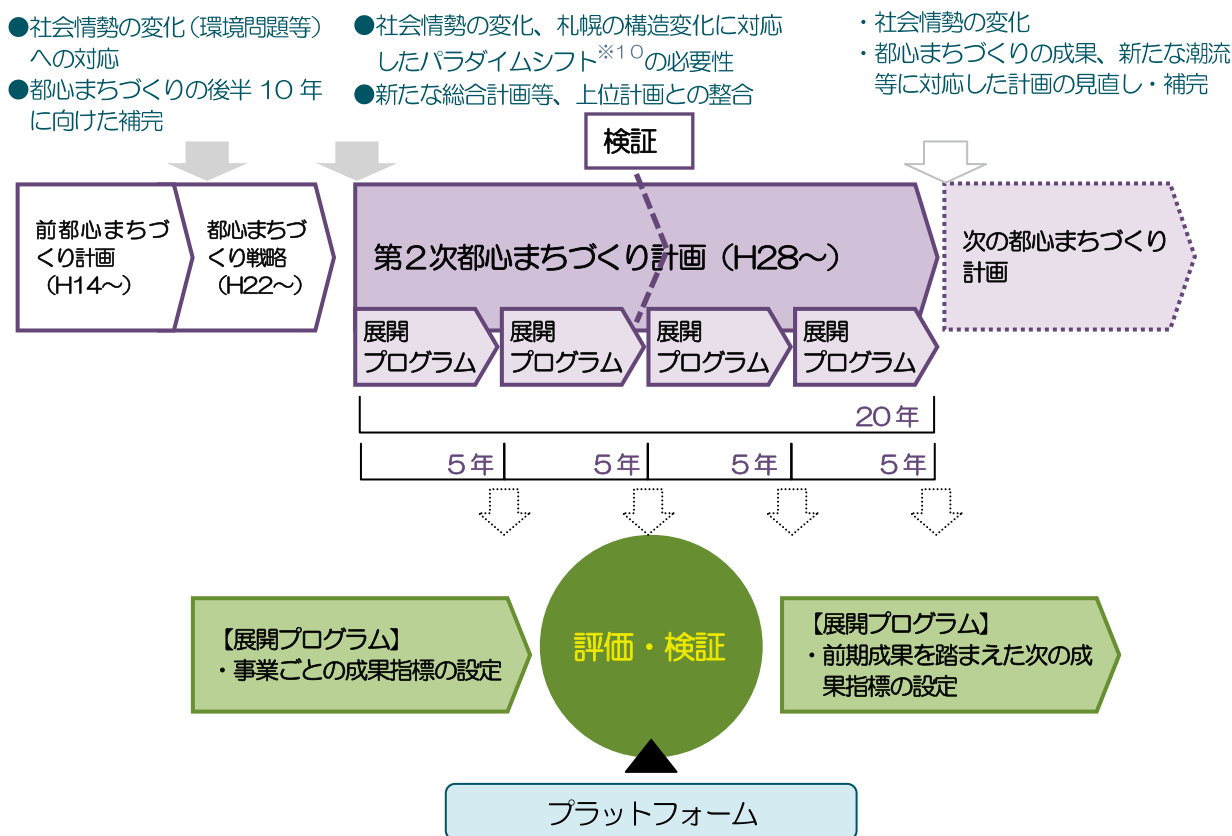


●情勢に適応した計画の見直し・更新、展開プログラムのモニタリング

○札幌並びに都心を取り巻く社会経済情勢が刻々と変化中、都心まちづくりの基本的な理念を継承しつつ、情勢に応じて新たな視点を加えながら進化させることが必要。

○時勢に適応した長期的なマスタープランの中間期における検証と見直し、展開プログラムの積み重ねの二つのサイクルから適切なまちの成長管理を行うことが必要。

○展開プログラム（5年程度）を発展的に展開し、着実に目標を実現するため、展開プログラムのモニタリングの仕組みをつくることが重要。



※10 パラダイムシフト：思考や概念、規範や価値観が、枠組みごと移り変わること。

第2次都心まちづくり計画 【概要版】

発行：平成28年(2016年)5月

企画・編集：札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室都心まちづくり課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

電話：011-211-2692 FAX：011-218-5112

URL：<http://www.city.sapporo.jp/kikaku/downtown/plan/plan.html>

E-MAIL：ki.downtown@city.sapporo.jp



さっぽろ市
01-B02-16-590
28-1-63

SAPPURO